

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ウッドワン

コード番号 7898 URL <http://www.woodone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 祐昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 藤田 守

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	15,729	3.5	△97	—	△546	—	△668	—
27年3月期第1四半期	15,192	△4.1	192	△43.1	△246	—	△134	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △2,558百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △472百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△14.32	—
27年3月期第1四半期	△2.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	93,918	43,716	43.9
27年3月期	97,226	46,442	44.8

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 41,243百万円 27年3月期 43,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	3.75	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,800	7.8	800	581.3	300	—	200	△54.1	4.29
通期	67,200	6.1	2,200	334.8	1,400	—	800	4.9	17.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	49,209,846 株	27年3月期	49,209,846 株
28年3月期1Q	2,557,518 株	27年3月期	2,556,922 株
28年3月期1Q	46,652,525 株	27年3月期1Q	46,659,938 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績の改善、設備投資の増加基調、良好な雇用情勢により景気回復が見られるものの、個人消費の持ち直しの一服感や海外需要の低下による輸出の弱含みなど内外需要とも弱含みの状況です。

住宅業界におきましては、平成27年度に入り、新設住宅着工戸数のうち新築マンションは、前年同期に比べると増加傾向に転じましたが、当社グループの主力販売分野である持家や分譲戸建住宅は、いまだ前年同期に比べると減少傾向で推移しました。

当社グループにおきましては、前連結会計年度は『第三の創業』初年度とし、これまで培ってきたDNAを土台として、今後の劇的な環境変化にも対応し得る体制を構築し、当社グループの独創的な市場を創造して、グローバルに成長していく新時代のスタートの年と位置付けてきました。引き続き、当連結会計年度は『第三の創業』2年目として、『利益目標達成のための営業革新の実施!』を営業方針として国内の少子化による需要感を見据え新設住宅着工戸数や為替の影響に左右されにくい経営体質への転換を進めていきます。

これまで主要都市に開設したショールームを活かし、無垢の木のキッチン「スイージー」を主体に、床材、内装建具などに加え「無垢の木の洗面台」「スイージーファニチャー」「無垢の木の収納」等の新商品を組み合わせ、トータルコーディネートすることで、お客様が実際の生活空間をイメージしやすいルームを再現し、無垢キッチン・無垢商品等の品ぞろえを広げ、販売を強化していきます。

当社グループは、環境共創企業として、これまで以上に、所有する山林資源を有効に活用した新商品の開発や業界をリードする省施工・簡単施工商品群を提案し、併せて更なる業務の効率化・コスト削減・資産の効率化等を図り、「スイージー」や「ピノアースシリーズ」など無垢商品群を武器に新しい顧客開拓にも注力していきます。また、全量売電の木質バイオマス発電所は、予定通り平成27年4月より発電を開始し、好調に稼働しています。

森林認証(※)を取得しているニュージーランドの森林資源を活用したピノアースシリーズを中心に、当社の強みである木が持つ潜在能力を梃子(てこ)に、新成長市場であるアジア市場や国内のリフォーム・中古再販市場などで、“勝てる市場×勝てる仕掛け”を創造・実現し、海外合弁企業の設立や海外関連子会社の再編を含めた新たな加工・流通・販売体制の構築に取り組み、成長著しいアジア市場など海外向けの売上増大に努めていきます。

これらの結果、連結売上高は、15,729百万円(前年同期比3.5%増)、営業損失は97百万円(前年同期は営業利益192百万円)、経常損失546百万円(前年同期は経常損失246百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失668百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失134百万円)となりました。なお、特別損失の為替差損としてNZドル/円レートの急激な為替変動の影響により発生したニュージーランド子会社の外貨建借入金に係る為替評価差損391百万円を計上しました。

(※) 国際的な審査機関FSC®(森林管理協議会)のFM認証(森林管理認証)とCoC認証(加工・流通過程の管理認証)の総称/ライセンスNo.FSC-C043904

セグメント別の業績は次のとおりです。

①住宅関連事業

住宅建材では、省エネ・省施工商品として、無垢の木の内窓「MOKUサッシ」、リフォーム用断熱改修パネル「あったかべ」、職人不足対策や工期短縮を実現するセットオン階段「Light」、インテリア性の高い上質な空間を提案する室内ドア「ソフトアートシリーズE type」、カラフルな色彩を採用した「ピノアース カラーペイントドア」、箱型収納・棚板・金物を自由に組み合わせるオリジナル収納がつけれる「無垢の木の収納」等の様々な商品展開を行い、拡販に努めました。

住宅設備機器では、ニュージーパイン®、メイプル、オーク、ウォールナットの4つの樹種の無垢扉を選べるキッチン「スイージー」は、木のぬくもりを感じる「無垢の木の洗面台」、手で“触れたくなる”ような木の質感が漂うテーブル・ベンチ・スツールに展開した「スイージーファニチャー」など、無垢の木の強みを活かした商品とともに住宅の室内ドアや床材などの内装材とトータルコーディネートできることで相乗効果を生むことができます。

また、FSCの森林認証材であるLVL等の構造材を使用し、高い耐震性能を担保した大空間や次世代型高性能住宅を実現する新システム「ワンズキューボ」の普及や長期優良住宅等の各種認定申請支援業務を行っています。

このような施策を行い販売数量の増加・付加価値の高い商品群へのシフト等により、連結売上高は、前年同期と比べ増加しましたが、長引く円安や需要の低迷によるコストアップに加えて為替評価損を計上いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間における住宅関連事業は、売上高が15,422百万円(前年同期比1.5%増)、営業損失が158百万円(前年同期は営業利益192百万円)となりました。

②発電事業

発電事業では、本社敷地内に木質バイオマス発電設備を導入し、当連結会計年度より売電を開始しました。木質バイオマス発電の運営におきましては、森林から直接産出する間伐材等の未利用木材、当社グループ内も含め製材所や木材加工所から生じる端材・木屑などの一般木材、建築解体現場から排出される建設廃材を燃料として仕入れ、電気事業者へ売電し、順調に利益を計上しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において開始した発電事業は、売上高が306百万円、営業利益が69百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における連結財政状態は、前連結会計年度に比べ、為替の影響もあり資産が3,307百万円減少、負債が581百万円減少、純資産が2,725百万円減少しました。主な内訳として、資産の減少は、主に現金及び預金が777百万円減少、為替予約(流動資産)が583百万円減少、主に為替換算によるニュージーランド子会社の立木勘定の減少から有形固定資産が2,505百万円減少しました。負債の減少は、主に支払手形及び買掛金が540百万円増加したものの、外貨建て借入金の為替換算の影響もあり短期・長期借入金が736百万円減少、繰延税金負債(固定)が323百万円減少によるものです。純資産の減少は、主に利益剰余金が843百万円減少、為替換算調整勘定が1,573百万円減少、非支配株主持分が411百万円減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)及び通期業績予想につきましては、平成27年5月15日に発表した業績予想を修正しておりません。なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項ありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項ありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しています。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しています。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しています。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,962	5,184
受取手形及び売掛金	8,514	9,090
商品及び製品	5,958	5,204
仕掛品	1,965	2,244
原材料及び貯蔵品	6,615	6,584
繰延税金資産	105	182
為替予約	924	340
その他	1,063	1,172
貸倒引当金	△32	△29
流動資産合計	31,077	29,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,953	9,544
機械装置及び運搬具(純額)	8,567	7,939
土地	12,744	12,588
立木	18,732	17,420
その他(純額)	2,255	2,254
有形固定資産合計	52,253	49,748
無形固定資産	556	557
投資その他の資産	13,338	13,638
固定資産合計	66,149	63,944
資産合計	97,226	93,918
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,581	6,122
短期借入金	8,177	7,896
1年内償還予定の社債	300	300
未払法人税等	57	137
引当金	233	464
その他	3,208	2,816
流動負債合計	17,559	17,737
固定負債		
社債	4,400	4,400
長期借入金	24,612	24,156
繰延税金負債	3,033	2,710
引当金	337	338
退職給付に係る負債	543	546
その他	296	311
固定負債合計	33,224	32,464
負債合計	50,783	50,202

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,815	7,815
利益剰余金	21,334	20,491
自己株式	△2,134	△2,134
株主資本合計	34,340	33,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	570	822
繰延ヘッジ損益	273	120
為替換算調整勘定	8,263	6,689
退職給付に係る調整累計額	118	113
その他の包括利益累計額合計	9,225	7,746
新株予約権	279	287
非支配株主持分	2,597	2,186
純資産合計	46,442	43,716
負債純資産合計	97,226	93,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	15,192	15,729
売上原価	10,431	11,561
売上総利益	4,761	4,168
販売費及び一般管理費	4,568	4,265
営業利益又は営業損失(△)	192	△97
営業外収益		
受取利息	10	3
受取配当金	25	28
受取賃貸料	45	31
その他	48	28
営業外収益合計	130	92
営業外費用		
支払利息	142	135
売上割引	119	110
為替差損	153	170
電力デリバティブ評価損	141	108
その他	13	16
営業外費用合計	570	542
経常損失(△)	△246	△546
特別利益		
固定資産売却益	1	0
その他	0	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産売却損	8	0
固定資産除却損	1	0
為替差損	-	391
その他	10	11
特別損失合計	21	404
税金等調整前四半期純損失(△)	△265	△950
法人税、住民税及び事業税	39	98
法人税等調整額	△150	△286
法人税等合計	△110	△187
四半期純損失(△)	△155	△763
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21	△94
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△134	△668

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△155	△763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156	252
繰延ヘッジ損益	△323	△177
為替換算調整勘定	△154	△1,865
退職給付に係る調整額	4	△5
その他の包括利益合計	△317	△1,795
四半期包括利益	△472	△2,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△392	△2,147
非支配株主に係る四半期包括利益	△79	△411

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。